

1978年版

新入生歓迎

パンフレット



企画・製作

札幌西高新聞局

「西高へようこそ」… 毛利はこう言いました。みなさんの天狗教はあと半年間くらいは請
め込み勉強する案の方向に行く。この学校に入学したのにちがいないのですから。そして其
の次に「学（または社会人の教）は東大理直に入らね。そちらから勉強する。北大まで行く
い。後援者の」… 毛利は、この意を、この意を、この意を、この意を、この意を、この意を、この意を、
下、かつ、かつ、かつ、かつ、かつ、かつ、かつ、かつ、かつ、かつ、かつ、かつ、かつ、かつ、かつ、かつ、
してしまいます。学次としての態度を全く喪失してしまった人も、この西高には多い。その
存在がもし、酔生夢死として目を迷い始めたなら、三年間の努力がむくみ出した存在
たの代わりに三年間の苦勞を一瞬にして水の泡にしてしまつた。それが劣悪な教育環境の中
を学んできたことを思い起さなければならぬ。今この国では現行教育体制の矛盾が激
しく噴出しています。そして、その矛盾を逆手にとった教育の一層の反動化も進められてい
ます。その動向があまりに巨大であるため、私たちは茫然自失となるか、もしくは全く氣
付かないという絶望的閉塞状態に陥ります。いよいよ眞実を学ぶこと、そして教
えることに対する情熱と努力が生徒と教師に望まれている時はありません。

— 1978年4月8日 礼部新聞局 —

西高のあゆみ

昭和25年(1950)度

昭和53年(1978)度

- 昭和25年度
- 5.1 二高から西高へ、男女共学
 - 5.10 生徒会発足
 - 5.23 会長、富沢君(初代)
 - 7. 執行部、男女交際九カ条を制定
 - 8.1 西高新聞発刊
 - 10.4 第一回文化祭
 - 10.24 会長、新谷君
 - 10.29 校内の「ミッドパーゴ」「君が代復活」「東道復活」に反対のビラ配布に関する道新記事に対し評議委員会が取り消要求
- 昭和26年度
- 4 学友会側の丸戯作法議本配布に対して執行部声明
 - 5.2 会長、小野寺君
 - 10.13 文化祭、テーマ「平和」
 - 3.8 会長、谷津君
- 昭和27年度
- 6 応援団結成ならず
 - 9.15 文芸部、反戦詩集発行
 - 10.3 文化祭、テーマ「平和」 ストーラの混乱
 - 10.16 執行部会計汚職発覚
 - 3.23 会長、山根君
- 昭和28年度
- 8.29 評議委員会「高文連加盟反対」決議
 - 9.23 会長、村瀬君
 - 10.3 文化祭 行灯行列 テーマ友し
- 昭和29年度
- 6.19 「生徒会沈黙打破」生徒大会
 - 7.28 新規約成立

昭和29年度 10.2 文化祭、テーマ「進学・就職における受験の矛盾を打開しよう」
11.20 会長、藤田君
2 教務、高文連加盟要求

昭和30年度 4.21 会長 江山君
7 会長 若松君
10.1 卒業生有志による『西高生徒会小史』刊行

昭和31年度 6 授業料、国鉄運賃値上げ反対署名運動
9.6 文化祭、テーマ「明るい高校生活をおくれる社会を作ろう」

昭和32年度 7 「西高原水爆禁止準備会」結成
9.22 文化祭、テーマ「勉強できる環境を作ろう」
12.26 会長 高津君
2 会長 河内君

昭和33年度 6.16 会長 土肥君
9.15 有志「民主教育を敗解する勤労反対に立ち上がる」というスローガン
9.19 文化祭、テーマ「楽しい高校生活を送れる環境を作ろう」
2 会長 佐々木君

昭和34年度 5.7 「AS改善」について執行部、文化部、HR代表の懇談会
7 会長、吉中君
9.24 文化祭、テーマ「これからの日本に対する高校生の要求」
2.13 会長 箕輪君

昭和35年度 5.20 安保条約反対デモに一部西高生参加
7.5 会長、石川君
7.9 西高焼失
9.17 文化祭、テーマ「立ち上がろう」
3.2 会長 澤我君

昭和36年度 6.15 会長 西村君
7.24 会長 山口君

- 昭和36年度 9・20 「学カテスル」に於いて臨時生徒大会 「学カテスルに反対」の意思表示
- 9・21 西高祭(文化祭+運動会)テーマ「前進」
- 2・1 会長 斎藤君
- 3・2 校舎移転
- 昭和37年度 9 会長 小柳君
- 9・12 西高祭 テーマ「君を走らせよう」
- 2 会長 谷口君
- 昭和38年度 4 会長 片岡君
- 9・18 会長 松長君
- 9・27 西高祭、テーマ「これが高校生だ」
- 11・5 毎日新聞記事(高校生の思想の自由に関する)が掲載化し調査委員会設置
- 11・28 高校生の政治活動を中心とした全校統一討論会実施
- 2・3 会長 道幸君
- 昭和39年度 7・16 会長 田辺君
- 10・22 西高祭「我々の求めているもの」
- 2 5 会則改正
- 昭和40年度 8・1 西高新聞縮刷版刊行
- 9・13 西高祭、テーマ「西高は生きる」
- 昭和41年度 6・27 会長 佐藤君
- 9・2 西高祭、テーマ「立ち上がれ西高生」
- 1・26 会長 斎藤君
- 昭和42年度 6・21 会長 松野君
- 9・1 西高祭、テーマ「考えよう、実行しよう、やりぬこう」
- 2・1 会長 渡辺君
- 昭和43年度 5・29 会長 中村君

- 昭和43年度
- 6, 22 会長, 茂木君
 - 8, 30 西高祭テーマ「打ち砕け西高生前途の壁」
 - 11, 1 AS「バト+公募金」
 - 2, 27 評議委員会、特活指等部の指導に対する抗議文提出
 - 3, 9 生徒大会決議「ASの完全自主管理運営」「生徒の自主活動規制廃止」

- 昭和44年度
- 4, 28 3, 9決議に対して学校側回答書を出す
 - 6, 16 会長, 渡辺君
 - 9, 12 西高祭, テーマ「考えよう西高生」
 - 11, 17 生徒大会「佐藤首相訪米反対」「安保撤廃」「政治活動規制反対」の決議, 400名が教地内デモ
 - 12, 16 11, 17について卒業の月解を考へめる公開質問状の提出

- 昭和45年度
- 5, 7 会長, 奈良部君
 - 7, 9 生徒大会「南高闘争支援」決議
 - 7, 15 会長, 高橋君
 - 9, 11 学校祭, テーマ「人間」
 - 10, 5 会長, 斎藤君

- 昭和46年度
- 7, 19 会長, 榎木君
 - 9, 10 西高祭, テーマ「西高の灯は消えず」
 - 12, 20 会長, 吉井君

- 昭和47年度
- 5, 15 瀬毛返還記念日につき終日討論会となる
 - 10 会長, 成色君
 - 12, 15 服装自由化する

- 昭和48年度
- 6, 1 会長, 丸山さん
 - 6, 22 必修クラク質問会
 - 7, 14 緊急AS(必修クラク強行実施抗議集会)
 - 9, 11 西高祭: テーマ「おが西高に光あれ」

※ 西高出身の作家 ※

著名な作家として1974年生まれの西高出身の柳田泉(あべまゆみ)は、1995年卒以降、高志身の学級成(りんせい)を承継する。

柳田泉の著作には「小説家」「小説の理論」等の理論書、「異物語」「異知の地帯」「石川洋子」などの長篇作品があります。また第一次読者の群を築き「読者の群」が一時筆を指し、自著した。これからの長篇作品は「小説家」に代わり、「読者の群」を題材に扱った。これに「読者の群」は、作者の妻ととも生きる主人公、観念を論じる理論、異知の地帯は、異物語には、異物の群、あるとある。

学級成は、柳田泉(あべまゆみ)の妻ととも生きる主人公、観念を論じる理論、異知の地帯は、異物語には、異物の群、あるとある。柳田泉の著作には「小説家」「小説の理論」等の理論書、「異物語」「異知の地帯」「石川洋子」などの長篇作品があります。また第一次読者の群を築き「読者の群」が一時筆を指し、自著した。これからの長篇作品は「小説家」に代わり、「読者の群」を題材に扱った。これに「読者の群」は、作者の妻ととも生きる主人公、観念を論じる理論、異知の地帯は、異物語には、異物の群、あるとある。

『読者の群』

『読者の群』は、柳田泉の代表作。この小説は、作者の妻ととも生きる主人公、観念を論じる理論、異知の地帯は、異物語には、異物の群、あるとある。柳田泉の著作には「小説家」「小説の理論」等の理論書、「異物語」「異知の地帯」「石川洋子」などの長篇作品があります。また第一次読者の群を築き「読者の群」が一時筆を指し、自著した。これからの長篇作品は「小説家」に代わり、「読者の群」を題材に扱った。これに「読者の群」は、作者の妻ととも生きる主人公、観念を論じる理論、異知の地帯は、異物語には、異物の群、あるとある。

主な年中行事

【入学式・対面式】すでに済んでしまった行事ですが、印象はどうでしたか？ 君達が体験してきた堂々しい考は違っても和やかなものだったでしょう。また対面式で上級生が君達を冷かすのは西高の伝統で、親愛の表現ですのびんからです。これからのどの行事も同様な雰囲気で行なわれていくので、積極的に緊張したりしないで、マイマースを取り組んで下さい。

【新入生歓迎会】西高の一員となってこの週間余り選んだ頃に行なわれます。フォーク・ロック・落語などの出し物をみんなを楽しむ場です。年の差を考えた時に2時間余りを存分に楽しんで下さい。

(頭上・豆腐・納豆師に注意!! なおウサの用意もお忘れなく...)

【遠足】5月下旬の考査後、テストの失敗もヨソに、クラスをまとまって行動する最初のものです。行き先は多少の制約は受けますが、クラスを結構自由に選べます。一で遠足とは名ばかりでスポーツを楽しむだけのクラスも出てきます。

【お花見遠足】5月中旬、学校行事でもないので、何日の時間に堂々として山公園にお花見にいけます。それというのも西高ではクラスをH.Rの運営計画を立てることができるからです。5月晴れと桜の下で、スポーツに汗を流そう!!

【運動会】6月中旬、付近の山に緑が自まつ頃、一学期のメインイベントが行われます。全校生徒を赤組・青組・黄組の3グループに分け、組ごとの勝負と各クラスごとの勝敗を競います。開会式は普通のものですが、その後半、応援団のデモンストラーションが行われます。青団赤道もマツダオのかつこうで、戦戦状を語りぬいせ、団員のフットボールの花を添えます。また、この時桃団・黒団の有志が集まった特別グループも出現しますのでお楽しみに。これが終わると、競技にはいります。一(二種目以上の出場権があり、右団の場合は沢山あります。また、昼の休憩時間に

文化装行列も行われ、笑いとおどりがあふれます。最後に西高名物、花笠音頭などがあふれ、見物客の目を魅了させます。そして笑いとおどりの中で一日が終わります。

【体育大会】 7月上旬、12月上旬 どちらも期末テストの後に開催されますが、勉強の疲れが吹き飛ばして、サッカー・バスケット・バレー・卓球などに熱中する人が多発してきて、非常に盛り上げます。また、クラス対抗の試合を後に、常に挑戦状をつきつけて、テストのうらやまを晴らす人も出現します。

【宿泊研修】 7月下旬 夏休み前には宿泊研修でエメコに行く予定です。今年のように水泳も行われたいのをエメコにまでたずねてお話しを承り、…… いろいろが全部いいでもありません。しかも、研修の異色にも、感傷にふけたり、弊病と草花をながめたり、きません。なぜなら、金縛りかいた者が立てて足が針になるほど歩かされるというから、しかし、楽しくないことはわりとなく所せよ、サ・ダンスなどのレクリエーションもあります。夜になると女子は花の雑談が始まり、男子は男子を悪戯を覗いたり、また、抜け船して女子の行ったり、とにかく夜は次の日の特訓にさしつかえない程度に楽しむのがです。しかし、昨日、天気が良ければ、恐峠の登山が行われます。ここで男子諸君、いい処を照らしたって、女子は浴衣に便上して乗る方もまたカッコイイ。帰りのバスはなみいね、またこの3日間をみんな入学以来の思い出として、本姓と総理ののりあそびをやらせ、互いの一面を再発見させ、情の輪をたたくことができるという。

よお 宿泊研修に行ったら、友達100人さきよかな——— 27

【文化祭】 西高祭とも呼ばれ、ステージ発表・展示・バヤの行列行列の催しがあります。9月上旬(今年度から実施の共通一次テストの日程変更の場合もある)の3日間に渡る長丁場であり、という間に過ぎ去るというほど楽しいものです。初日は夜祭と呼ばれ、朝から夕方までステージ発表があり、合唱祭も行われています。6時から各クラスを放課後熱心に作った巨大なちやうちん(つまり行灯)を何となく全量をかき取りを練り歩くのです。それにこの行灯行列はクラス対抗のコンテスト形式に昇り、各校の市民に採点してもらって順位を決める。二日目はステージ発表に加えて、バヤ

クラブ紹介

体育系クラブ

硬式テニス 毎年のように各種全国大会や団体に選手を送りこんでより、西高体育系クラブの中でも目立つ存在である。見かけは華やかだが練習は早朝から夜遅くまで行なわれ、行かぬがきびしいようである。

軟式テニス ……軟式テニスクラブの活躍に聴かす印象も強いが練習は熱心である。部員は24名で、硬式テニスクラブに比べて経済的に安くつき、手軽にできるのも軟庭に入ったという話も聞かれることがある。

バスケット 昨年度は男子バスケットボールに目ざましい活躍であった。新人戦札幌地区第4位、選抜大会では全道3位となった。男子11名、女子11名できびしい練習を積んでいる。3日の暖かい協力があることも特色である。

男子バレー ひとつとしまは部員3名と試合もできない状態にあったが、現在10名の部員はバレーの遠藤深き指導の激励のもと、大変熱心に練習を積んでいる。今年度は春季リーグ、新人戦リーグと計画中である。

女子バレー 昨年度の活動は春季リーグ、インターハイ、新人戦などが主なものだったが戦績の方はあまり芳しくないようである。がVサインを掲げず根性のある彼女たちが集まり着実に練習を続けている。

ラグビー ……昨年同好会から昇格された新しいクラブで部員は25名でグラウンドの物置きを改造した部室をもっている。昨年度はクラブ2年目にも

かかわらす新人戦準優勝などなかなかの成績を残した。

サッカー 部員は20名をほとんど毎日熱心に練習している。昨年は、市立新人戦・高体連・サロンスポール大会などに出場した。将来が楽しみなクラブである。

野球 中学の軟式とはちがって、あたけは痛い本格的な野球だ。野球は暑がため、なかなか業績をあけられないが、来は甲子園・プロ野球...と夢は相野を駆けぬける。

バドミントン 全校30数校あるバドミントンクラブの中でも、トップレベルに位置している。練習はきついが、2年ほど前の調切な指導がある。

ハンドボール 昨年はインターハイの全道大会に出場し、優勝戦と戦った。また新人戦地区大会優勝など、素晴らしい成績を残した。活気に満ちた練習と、より充実した活動が期待されている。体の大きさにはまだ左右されないが頭脳的な要求される。

柔道 部員は8名で全員が男子である。練習場所は小体育館で確保には苦労している。高体連・練習試合などのほか、4回の昇段試合にも積極的に参加している。

剣道 部員は10名、練習場所は記念館。練習は熱心に行なわれているが、暑いため上位への進出はむづかしい。しかし活動としては充実していると言えよう。

弓道 近年ますます実力を付けている。フル種弓道場で規律ある練習をとり、昨年度もかなりの実績をあげた。多少お金がかかるのが難点だが、沉着冷静で物集中か、礼正はと暮らすことができる。

陸上 毎年数多くの大会に出場し、素晴らしい成績を納めている。15名が在籍し、毎日遅くまで地味だがおもしろな練習を続けている。

▷体操 部員は9名。整備は整っており個人競技であるから本人が自覚して練習に励めば実力はメキメキついていくことだろう。今年度は仁ターハイ新人戦などの出場を予定している。

▷水泳 部員は一年生ばかりの10名で大会に出られる状態ではなかつたがタダひたすら練習に励んだ。活動場所は確保されているので練習はやり放題である。

▷空手 活動場所に多少不自由しているが、ごくまじめに練習している。部員は5名で活動場所は一定している廊下やラケットで基礎練習をしている。

▷卓球 部員8名で小体育館を活動場所として活動場所としている。毎年数多くの大会に出場してある程度の成績をあげている。休日も返上しての練習もよく見られる。

▷スキー 数年前までは優秀なる顧問のモトで輝かしい実績を重ねてきたクラブであったが今では部員4名で頑張っている。しかし昨年は数々の大会に出場したりしてもう少し部員が増えて頑張ればまた大きく躍進するだろう。

▷山岳 札幌二中時代からの伝統と実績を誇るクラブ。札幌近郊の山はもちろんだが大雪連峰その他道内の著名な山々へ足をのばし高校山岳界のバリエーション。西高山岳部の足跡は数知れない。

▷サイクリング同好会 一昨年新設された新しいクラブである。体育館前の廊下で見慣れない機械を使って練習しているのをよく見かける。しかし昨年は休部同様であまり目立った活動は見られなかった。今後、後継者が及えさえすればまた活動が再開されることだろう。後継者は君だ!!

文化系クラブ

▷ 茶道

15名の部員は易論全員女子。4月の新入生歓迎の茶会と西高祭で必ず「桔梗」が大きな活動である。活動場所は三棟一階の作法室である。

▷ 華道

この伝統ある華道部では毎週一回、池の坊の先生をお招きして、生けおけいこをしている。少ない時間ですが花を生けることにより落ち着いた時間をもってみませんか？ 女子はもちろん、男子ももちろん大歓迎です。

▷ 書道

高名な山田太虚のもと 15名の部員はみんな三棟三階書道室で書にのみけけながら活発な活動をしている。朝日小品展において特選や秀作など多くの賞に輝き、目ざしい果を上げた。

▷ 人形劇

人形の好きな人、募集し！カエルにきつねにシンテラ... そのほか色々いるのです。校内公演・幼稚園訪問・劇祭・道バス遠征公演と活動は活発そのもの。さあ、あなた！ クアファミリーの一員になってみない？

▷ 演劇

んいつもニコニコ、楽しい毎日。2明明く清く美しく。バラ色の高校生活をあなたに送る演劇部。3. 美男美女の先輩がまっぴい封。

▷ 生物

動植物の生態の多様さは、観る者を神秘の世界へ引きずり込んでしまう。その魅力たるやとても言葉では言い尽くせぬほどである。生き物が好きな人、我々と一緒に「生命」を探してみよう！

▷ 理化

部員は7名と少人数ではあるが昨年は高文連研究発表など活発な活動してきた。本校は器具・薬品なども充実しているため、どんな研究もできるし、又、担当教諭の熱心な指導もあるので楽しく活動できる。

▷ 地学

全道でも数少ないクラブである。昨年は 自然博覧会、池田大へ遠征旅行を行った。部員は7名と減少気味だが擴張してまいりたい。

写真

部員は15名で活動場所は三棟二階視聴覚教室である。毎数回の撮影会があり個人撮影であるが、今つした中で見出された作品は函高祭に展示された。高文連石狩地区合同写真展にて発表されている。

将棋

昨年度も札幌地区大会個人・団体優勝、全国大会北海道予選団体準優勝進出の活躍が、実績を誇っている。活動場所は三棟視聴覚教室で先輩後輩が切磋琢磨する姿をよく見受けられる。

英語研究会

7名の部員で、今年も元気がみなぎっている。最近には派手な衣装を着てのダンスも新入生の人気が定まっている。今年には周年記念発表会(10月開催予定)があり部員一同、ハリキッている。

郷土研究

部員11名で活動場所は第二クラブ室でアマチュア無線クラブと同属している。昨年は郷土研究調査に出かけた。新部報も発行している。活動には多くの復元資料が豊富に揃っている。

フットボール

部員は男子、女子があるが顧問が一緒で、チームの結束はよい。クラブがある。校内外を問わず活動が盛んで、部員一人一人の活躍が注目されている。活動場所は記念館。

アマチュア無線

アマチュア無線同好会試験において圧倒的な合格率を誇る。全日本アマチュア無線部門において北海道優勝を果たした。今年度は世界の全大陸上の受信を目指している。活動場所は第二クラブ室。

美術

16名の部員の中で男子が多数を占めている。年一回、4つの部員が校外展(札幌市立道庁)において本校の入選入賞を果たす。その活動中は活発に活動している。活動場所は三棟三階の一番奥美術教室。

外局

▷放送局

局員23名で毎日の定時番組を企画放送。また全校への連絡告知など活発な活動を続ける。毎年多数のコンクールにも出場、割合の良い成績をおさめている。最近ではアナウンス技術も途々に向上してきた。定時番組も打ち打ち充実してきた。今後の放送は楽しみである。

▷図書

西高文化の大殿堂、偉大な図書館の片隅に位置する局室を、おはおはとミュージックライヴを読みながら濃い紅茶を飲む。それがうちの図書局です。仕事の内容は本の貸し出し・返却整理、機関誌の発行、年一回の他校訪問(昨年は北見へ遠征)などである。御奉仕クラブとの声も強いが割合楽しい。みんな、おい!!

▷新聞局

新聞局が発行する「西高新聞」は現在126号を迎えている。1950年8月1日、つまり西高創立から3ヵ月後に創刊号を発行し以後27年、西高とともに歩んできた。50年代、60年代は全国でも最高水準の高校新聞として有名であった。一が68~72年までの学園紛争で社研とともに闘争主力となったため、数々の弾圧による挫折感から低迷し、現在にいたっている。近年は高校生の政治的無関心・無気力を反映して、たどり集団と化し、コアの多さは全学一といわれている。その編集方針としても自主的(自治的)、創造的に日本全体をとらえることを忘れ、狭い学内の評論に終止している。HRの北ニオンリーダーとして、再度底辺から運動をとりあげる主力となるのが現在課せられた使命である。第一クラブ室を根城として、今年度はかり版新聞発行20回、活版新聞発行4回、各種アンケートの実施、局室のぞうじなどを計画している。上下関係がほとんどなく全学で一番リベラルな雰囲気であるという。

-
- ※ 今までのように、他校にはいろいろなクラブがあります。ですからよく考え、あるいは友人と相談し入らばい。何でもよい、何かクラブに入って高校生活を多分に楽しみましょう。

有意義な高校生活 ため 社研に入る

→ 時に 美大マンの 女の人

の 事務局

を送る



最初は
あせたりするが
じきに慣れる!



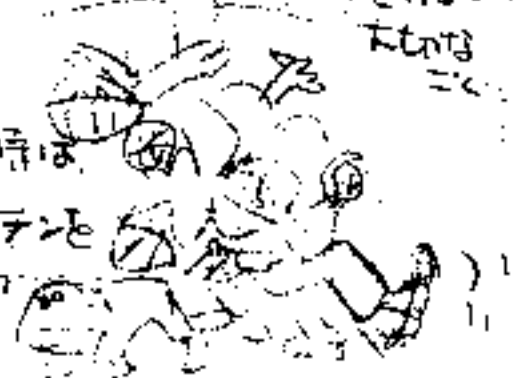
いかにして
じきに
あせら
ずなるか
まきこ
ちんこ
さけるが
たの
み



2月4日には
あぜた方が
進級しやすい
とが
ナンキヤリ



323の
まじから
外に出る時は
社研のカーテンを
よく見てから



のど
は地獄

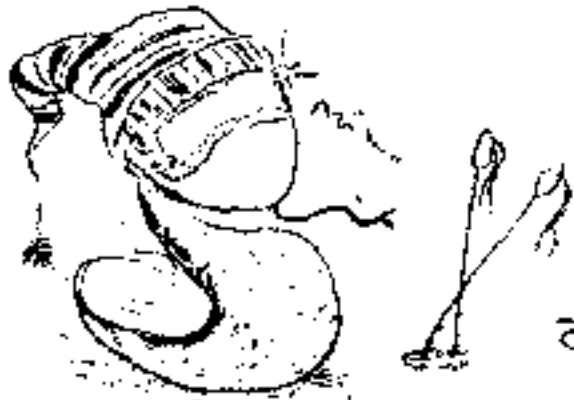


トモウの海
12月の教師
が悪魔になる!



数々の
悪魔
(悪魔)

あ
ま
し
い



おわり



=PR版=

西高新聞「声」より

新聞局では、毎にかし新20回、活版5回発行してはいますが活版の中に、西高生の石まの声・意見などを載せた“声”という欄があります。

“声”というものは、西高生の苦悶・不満の面などが軽快なエッセイにのせて書かれており、またとも西高生活をするにつれて同感々々と思わせることも出てくるでしょう。

ここに、西高生の顔と舌を語る代表的な“声”を載せました。君たちもこれを読んで西高生の一面をのぞいてみよう。尚、“声”原稿はいつでも募集しておりますので、自分の思ったことなど書いてみましょう。そして、ネークラス室までもって来て下さい。

私の西高観

色とりどりの紅葉と木々の緑が美しい対照をたはしいわれの山並みにとどろいた黒土の足音。初めこの道を歩いたあの春の日にゆくりと思い浮かべていた。さむやかな春の日の光の割れるような拍子を感じたハシリやコーラスを忘れることはできない。私は西高生になったのだ。赤いレインコート。風が強く静かにゆらぐ緑の芝生。教室中に漂うあまのいづれか。屋上には山並みの緑が霞のように見える。水色の空に笑い声が響く。すき透った水。水しなみをおた。ホーホーはしゃいでいる私たちのそばに、きれいな鳥が遊びに来る。広いグラウンド。馬とびの馬になると私の山がさかさにうつる。この八ヶ月間、私は無我無中を過ごしてきた。そしてたんだん西高というものがわかってきた。運動会や行燈行列など西高の楽しさを知り、そして大会ではいつかうらのすばらしさと知った。――中略――生徒会は数々の問題をかかえている。私にはまだそれが打にと打にと。いよいよ指適しこれからどうしたらよいかという結論を出すことができない。でも私たち一年生は、いつまでもわからない。打と打とはいってはいられない。上級生にまた今年の一学生はだらしない。打と打と言わねえ見放さねえようにがんばらなくては。私は西高が好きだ。この明るくのびのびした笑いの絶えない西高がたまらなく好きなのだ。

びびりにしはいすくうる

入学したこの頃は自分が湯の足まらなかつた。他の女らと話をしても田舎者の人生。たはなつてく
るばかり。おまけに引れる時「じゃあね」と言っても無視された時は西高はこんな冷たい
ばかりなのか。と思い山越えて田舎へ帰りがた。でもなんかところじゃなかった。西高
おれはたれもしない。この求の授業中。学習をたてかけた我々は兵民の怒りにふれし。廊下
から〜っと並座させられた。ミーゴ。おれらの王座打んマのは地獄みたいなものだ。こ
ちゅうと通りかかった紺シャツの先輩たちが「オー、カンパレヨ!!」。あの時がたは西高
おれら入ってしまつた。新入生歓迎会、宿泊研修、学校祭...とやらはまた八か月して
きていい。西高生活で忘れることのない素晴らしい思い出として小生の胸に刻みつけられ
いる。自由奔放で個性豊かな西高感覚! いいよこい。西高はもうでたのちや。

オニが出るよ

0月X日HRが早く終了し担任が「それじゃあメリの時間にしてあげよう。申し込んで
パンを買い、担任の許可をもらって食堂で食べよう」と入りに鬼のよな教師がたててくれる。
まだ時間をぬい!」とおこるのだ。見ると先生様方は名々とした食堂でゆうゆうとお食べに
おられるのだ。「あの...担任の許可をもらって食べよう...」担任が何と言おうとれが
たと言ったから、ダメだ!」HR終了時間まであと15分、みんな幸福いっぱい胸い
合せてほおぼっているんだ。あーあ、強き者よ、汝の名は教師なり。

僕は罪人です

クラブが終わってからのことでした。僕は友達と話しながら玄関に行きました。自分のロッカー
と聞き手ばかりの靴を出さうとしました。けどそこには、かまがさにならエしがありませんでした。僕は、
ぐぐぐ海のロッカーと聞きました。教科書が降りました。おれらの靴はありませんでした。おれ、せ
くの学校推選靴なのに、十八番の靴なのに。僕は、しばらく自分の自地に着るにの穴のあいた
口熱を必死で捜しました。名前を書いてないけど、穴の位置はわかるんだ。一時間ほど
ねと見つかありません。同じ種類の靴はたくさんあるけど...僕は寝ました。冷静になら
家に帰らないのに気づきました。困った。この靴を帰してもいいけど明日までに新しい上靴

買わなきゃならない。でもそんな余裕はないんだ。家に帰ればコンボの予習と化学のレポートが僕を待っているし... 其の時僕は一つのことを思いつきました。おわりを見渡し僕は良心の痛みを感じつつも別のロッカーの中から上等の靴をとり出し其の考えを実行しました。僕は何食わぬ顔を帰ろうとしました。其の時誰かに見られたようおどろきました。「おっくい」と思い僕はバス停に向って、あわてて走り出しました。
☆ どうでしたか?! なかなかおもしろかったでしょう。君の原稿をまっます。☆

編集後記

☆新人生諸君!! まじめに勉強しよう! (おわれっ子)

☆いっしょうけんめい夜も寝ないで昼にねて作ったので英語の宿題が $f(x) = \frac{\sin 2x - \cos 2x}{\sin x + 5}$
ページ終わっていません。心ある英語科の先生へ、あと $\frac{\sin 20 + \cos 20}{\pi}$ 日、待って下さい。

☆君たちには、他人に扇動されることなく真実を見つけてほしい。

☆発行日を決めても守れないのは、長年の我クラス tradition とか...

☆新聞作りは、大へんだけか、とっも楽しいのでおほす。とっもかよ (A HAPPY GIRL)

☆AT LAST パンフレットが出来た!! 其の喜び・其の感動、こればかりだ。みんな制作者のみが知る事。君も知りなさい。

☆今朝は、社研のハイジ君がどうでもかんにあつてくれた。心から礼を言いたい。(ハイジ)

最後のはりとして、新歓、どの作成にうちこまうとしたが結局、教工の宿題に追われ、一旦先にきつてしまった。多分おむ、大きに頑張る? 此れおものを書いている。またまたお熱と思つていた一年生たおが期待できようだ。今後は積極的に仕事にうちこまうほしい。西高生は、どんな場合でも可能性を十分に転かていふんだ。

新一年生諸君! 何かを言いたいと思つたり空虚感を感じたら第一クラブ室の = A を叩いて欲しい。僕らは喜んで歓迎したい。がんばれ新一年生。

(元二年生を代表して 茶木 一舟)

1978年度版 新入生歓迎パンフレット

発行所 札幌西高等学校学生会外局新聞局

編集者

製作期間 1978年3月27日～4月7日

==== 編集27.07 ====

元一年生	佐口不逞	中世道代	原石孝彦	佐藤敬司	浜田正也
	伊藤恭子	坪井環	高野寧	長谷川美佐	山崎由生
元二年生	鈴木一寿	夜倉隆則	安達純生	仲村啓	藤下泉